

スクールトピックス



小平瀨天満宮の境内で天神太鼓を奉納する児童

小平瀨天満宮に天神太鼓を奉納 緑小学校

学問の神、菅原道真公を祭り、日本三大天満宮の一つに数えられる小平瀨天満宮の例大祭は7月24、25の両日開かれました。初日の24日には、緑小の5年生18人が天神太鼓を奉納。児童たちが境内に勇壮な太鼓の音を響かせ、例大祭を盛り上げました。天神太鼓の名前は昨年、同天満宮から授かったということで、この太鼓の演奏は、10月に学びいで開かれる野口音楽祭でも披露される予定です。

緊急時に備え救急救命訓練 猪苗代高校

猪苗代高校では7月22日、猪苗代消防署の署員を講師に招き、同校で普通救命講習会を開きました。緊急時に備えて、運動部などの生徒49人と教員7人が、ダミー人形を使って心肺蘇生法の正しいやり方や知識、AEDの使い方などを習得しました。参加した生徒らは、講師の説明に耳を傾け、時々メモを取ったり、質問したりして、真剣な表情で講習を受けていました。



真剣な表情で実技に取り組む生徒



慰霊碑の前で剣舞を奉納する児童

白虎隊の剣舞を奉納 吾妻小学校

戊辰戦争の激戦地、母成峠の戦いで戦死した東軍殉難者の慰霊祭は8月21日、母成慰霊碑前で行われ、吾妻小の5年生13人が白虎隊の剣舞を奉納しました。慰霊祭には、母成弔霊義会の会員や殉難者の子孫など約30人が出席し、焼香するなどして犠牲者の霊を慰めました。会場には多くの保護者が訪れ、剣舞が始まると、カメラを構えてわが子の姿を写真やビデオに収めていました。

仲間たちと共に清掃活動 猪苗代スポ少

猪苗代スポーツ少年団は8月21日、毎年恒例となっている町内の清掃活動を実施しました。猪苗代小に集まった1年生から6年生までの団員と保護者ら約100人が、2班に分かれて清掃を開始。同校や町役場の周辺、商店街などを歩き、歩道などのごみを熱心に拾い集めました。活動に参加した団員たちは「タバコのポイ捨てが多かった。町が汚れるのでやめてほしい」と話していました。



和気あいあいと清掃活動に取り組む陸上部の部員たち

笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

「友達をたくさん作ってほしい」と話すパパの貴範さん。ママの舞さんは「自分の好きなように、のびのびと育ててほしいですね」と笑顔を見せます。

佐藤 優斗 くん

平成26年2月生まれ
～道下
貴範さん・舞さん夫婦の長男

好き嫌いなくごはんをモリモリ食べて、すくすく成長中の優斗くん。乗り物が大好きで、酪農を営むママの実家のホイルローダーが特に気に入っています。おじいちゃんに連れてもらうと、ハンドルの握ったり、クラクションを鳴らしたりと大喜び。「実家に行くこと、まっ先にじいちゃんのをばへ行き『じい、ドッド』と上目使いでお願いするんです」とママの舞さんは笑います。

最近では、甘え上手になってきたという優斗くん。パパの貴範さんが休みの日には、「パパー」とすり寄り、ずつとだっこしてもらうこともあるのだとか。貴範さんは「一日中だっこしてるのも大変だよ」と言いながらも、まんざらでもない様子で優斗くんをやさしく見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(02)2111



湖岸一斉クリーンアップで熱心にごみを拾い集める参加者(8月2日、上戸浜)

猪 苗代湖では、水質日本一への復活に向けて、さまざまな水質保全活動が展開されています。

8月2日には、本町と会津若松市、郡山市でつくる猪苗代湖環境保全推進連絡会が、猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦を実施。上戸浜では、町内外の団体、企業からの参加者や一般参加者など107人が湖岸を歩き、ごみを熱心に拾い集めました。

終了後には、県環境アドバイザーの中村玄正さんによる学習会が開かれ、参加者が猪苗代湖の水質などについて理解を深めました。

水質日本一への復活目指して

猪苗代湖でさまざまな水質保全活動を展開

猪苗代湖の北岸では、猪苗代湖の自然を守る会が中心となり、水質悪化の一因となっている水生植物「ヒシ」の除去作業を実施しています。

活動は、7月から9月までの毎週火曜日に実施。8月25日には、町内外から参加した34人のボランティアが胴長を履いて湖に入り、泥だらけになりながらヒシをかき集めました。集めたヒシはコンテナに詰め込まれ、ボートに乗せて岸へと運ばれました。

この日湖から取り除いたヒシは、コンテナ約300箱分にも及びました。



湖岸にびっしり生えたヒシを取り除く参加者(8月25日、猪苗代湖北岸)